

## 専門家として参加派遣したIAEA 関連ミッションの例(\*)

(\*)専門性による指名参加と自発参加の両パターンがある。

| 年月          | 会議名   | 開催地         |
|-------------|---|-------------|
| 平成24年7月     | IAEA/JICCメンタリングコース(メンター)                        | 東京          |
| 平成24年5-6月   | IAEA NEMスクール、メンターワークショップ(講師)、運営                 | 茨城県東海村      |
| 平成23年7月     | WNU夏季研修(講演、メンター)                                | 英オックスフォード   |
| 平成22年9-12月  | Energy Management School(於ICTP) 準備および運営         | ウィーン、トリエステ  |
| 平成22年7-8月   | WNU夏季研修(講演、メンター)                                | 英オックスフォード   |
| 平成21年12月    | IAEAコンサル会議「WNU夏季研修プログラム評価」                      | ウィーン        |
| 平成21年11-12月 | 新規導入国の原子カインフラ総合レビュー<br>(コンサルタント)                | インドネシア、ベトナム |
| 平成21年7-8月   | WNU夏季研修(講演、メンター)                                | 英オックスフォード   |
| 平成20年7-8月   | WNU夏季研修(メンター)                                   | オタワ         |
| 平成19年10月    | 原子力知識管理に関するアジア地区ワークショップ                         | 東京          |
| 平成19年9月     | 原子力発電所補修要員と契約者の訓練とパフォーマンスに関する良好事例普及のための技術会合     | ハンガリー       |
| 平成19年6月     | 原子力施設の知識管理に関する国際会議                              | ウィーン        |
| 平成19年1月     | 「原子力発電プロジェクトの建設管理能力の向上プロジェクト」キックオフ会合            | 中国北京        |
| 平成18年11月    | 原子力海水淡水化広報・教育活動のワークショップ<br>(講演、コンサルタント)         | インドネシア      |
| 平成12-18年    | 原子エネルギー局政策諮問委員会(SAGNE)常任委員                      | ウィーン        |
| 平成17年5月     | 「原子力海水淡水化に関する経済性予備成立性評価プロジェクト」総括会議(コンサルタント)     | インドネシア      |
| 平成17年2月     | 「原子力海水淡水化に関する経済性予備成立性評価プロジェクト」プロジェクト会議(コンサルタント) | ウィーン        |
| 平成15年12月    | 「原子力海水淡水化システム最適化」<br>調整研究総括会議(コンサルタント)          | ウィーン        |
| 平成15年9月     | 「原子力海水淡水化システム最適化」調整研究成果の報告発表受託(GENES4/ANP2003)  | 京都          |
| 平成15年7月     | 原子力技術に関するアジア地区高度教育ネットワーク設立についてのコンサルタント会合        | 韓国大田        |
| 平成15年4月     | 21世紀における放射線照射の新利用展望に関する技術会合                     | ウィーン        |
| 平成14年6月     | 「原子力知識・経験の継承」に関する国際会議                           | ウィーン        |
| 平成13年10月    | 核燃料サイクルの選択肢に関する技術会合                             | ウィーン        |